

第3節 幸福観 — 幸福になるためには

【「①いい友だちがいると幸せになれる」が89.6%。そして「②いい大学を卒業すると幸せになれる(59.9%)」はそれより30ポイント近く減って6割ほどになる。「③お金があると幸せになれる(49.4%)」は①より40ポイント近く減って5割になる。また、進学塾通塾者のほうが「②いい大学」を選ぶ割合が高く、非通塾者のほうが「③お金」を選ぶ割合が高い。幸福観の組み合わせでは、成績上位の児童ほど「①友だちと②いい大学と③お金」を選んでいる。なお、成績上位と中位で「①友だちと②いい大学」が多く、成績中位と下位で「①友だちと③お金」が多くなっている。】(図2-6、図2-7、表2-3、表2-4、表2-5)

Q14

あなたは、つぎの意見をどう思いますか。1)~7)のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。(ここでは、1)、2)、3)を分析する)

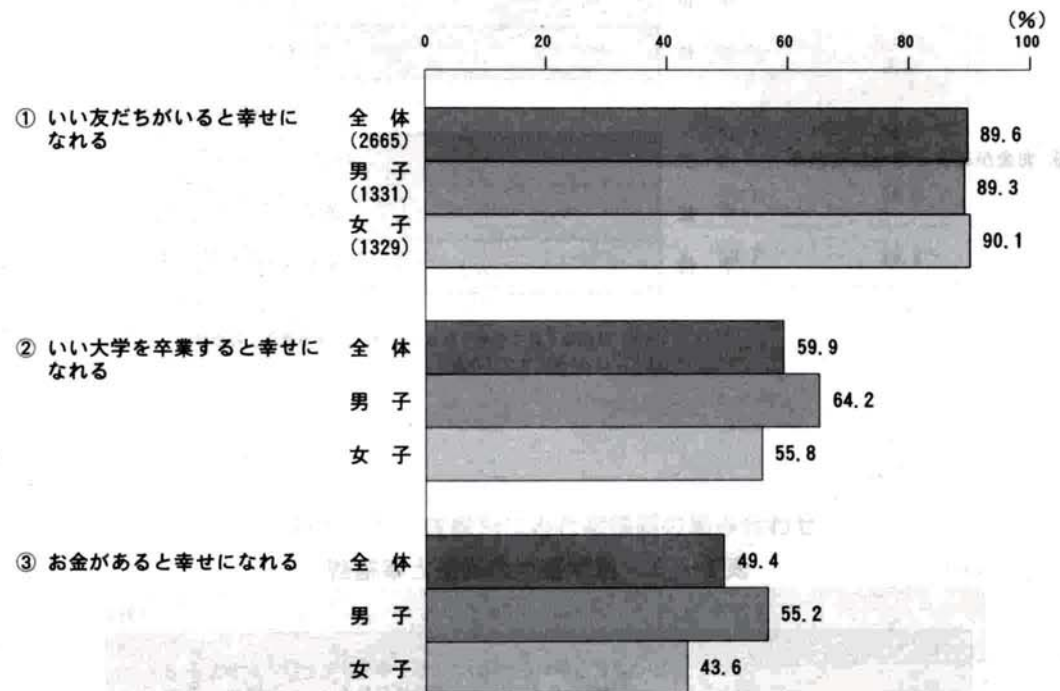
幸せになるための手段・方法を尋ねた結果が図2-6である。「①いい友だちがいると幸せになれる」がもっとも多く89.6%が選んでいる。小5の場合、友だちが非常に重要とされているのである。「②いい大学を卒業すると幸せになれる(59.9%)」は「友だち」よりも30ポイント近く少ない。また、「③お金があると幸せになれる(49.4%)」は40ポイント少なく5割を切る。

成績別にみると図2-7のように、「①いい友だち」はいずれの成績でも9割前後であり、成績による差がほとんどない。「②いい大学」は成績による差があり、成績上位の児童のほうが高い割合になっている。

次に、進学塾への通塾と幸福の手段・方法を尋ねた結果では、表2-3にあるように、「①いい友だち」は進学塾通塾者と非通塾者との間で差はない。しかし、「②いい大学」

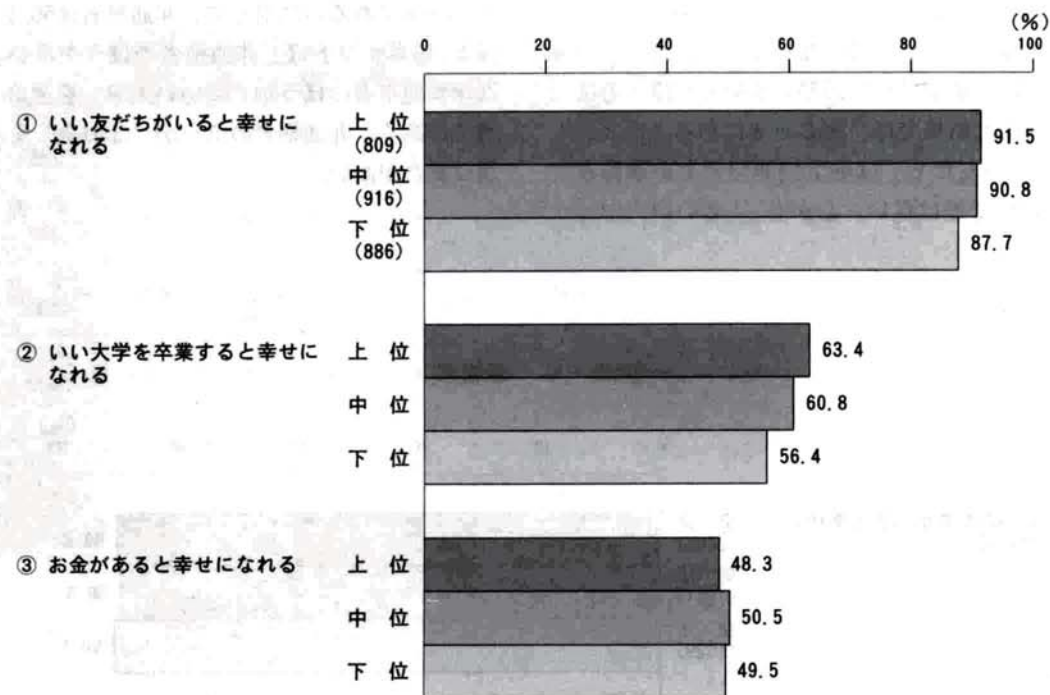
では、進学塾通塾者が72.7%に対して、非通塾者は58.8%と13.9ポイントの差がついている。反対に、「③お金」では、進学塾通塾者は41.9%であるのに対して、非通塾者は50.1%と、10ポイントほど非通塾者のほうが多い。進学塾通塾者のほうが「②いい大学」を選ぶ割合が高く、非通塾者のほうが「③お金」を選ぶ割合が高い。

図2-6 幸福観



注1) 数値は「とてもそう思う」と「わりとそう思う」の合計。
注2) ()内はサンプル数。

図2-7 成績別にみた幸福観



注1) 数値は「とてもそう思う」と「わりとそう思う」の合計。
注2) ()内はサンプル数。

表2-3 進学塾への通塾と幸福観

	① いい友だちがいると幸せになれる	② いい大学を卒業すると幸せになれる	③ お金があると幸せになれる
進学塾通塾者 (227)	90.3	72.7	41.9
進学塾非通塾者 (2438)	89.6	58.8	50.1

注1) 数値は「とてもそう思う」と「わりとそう思う」の合計。
注2) ()内はサンプル数。

最後に、データの再分析を行い、①友だち、②いい大学、③お金の3つのうちどれを選んでいるかで組み合わせを作った結果が、表2-4である。まず、「①友だちと②いい大学と③お金」を選んだ児童は34.1%いる。また、「①友だちと③お金」を選んだ児童が11.6%、「①友だちと②いい大学」を選んだ児童が22.4%、「①友だち」だけを選んだ児童が21.5%いる。同じ表で性別には、「①友だち」だけを選ぶ割合が、女子が男子よりも

8.3ポイント高く25.7%、逆に「①友だちと②いい大学と③お金」を選ぶ割合が、男子が女子よりも9.9ポイント高く39.1%となっている。

表2-5は、同じ幸福観の組み合わせを成績別にみたものである。成績上位の児童ほど「①友だちと②いい大学と③お金」を選んでいる。また、成績上位と中位で「①友だちと②いい大学」が多く、成績中位と下位で「①友だちと③お金」が多くなっている。

表2-4 幸福観の組み合わせ

	友だち	友だち お金	友だち いい大学	友だち お金 いい大学
全体 (2665)	21.5	11.6	22.4	34.1
男子 (1331)	17.4	11.7	21.1	39.1
女子 (1329)	25.7	11.5	23.7	29.2

注1) 無答・不明とその他の組み合わせは、省略した。
注2) ()内はサンプル数。

表2-5 成績別にみた幸福観の組み合わせ

	友だち	友だち お金	友だち いい大学	友だち お金 いい大学
上位 (809)	21.8	9.5	23.5	36.7
中位 (916)	20.1	13.0	23.5	34.3
下位 (886)	23.1	12.3	20.2	32.1

注1) 無答・不明とその他の組み合わせは、省略した。
注2) ()内はサンプル数。